

◆茅ヶ崎同盟教会たより 2023年7月

...深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい。互いに忍耐し合い、だれかがほかの人に不満を抱いたとしても、互いに赦し合いなさい。...

(新約聖書 コロサイ人への手紙 3章 12-13節より)

キリスト教カウンセリングの分野で尊い働きをしてこられた堀肇牧師が5月末に天に召されました。堀牧師が遺されたショートエッセイからご紹介します。

「風景というものは、見る角度や時間によって違って見えてきます。それに感動する人も多いでしょう。これは人間についても同じです。たとえば家族を見る場合、時には真正面からではなく、遠くを歩く姿や疲れて休んでいる姿、また学校に行くわが子の後ろ姿なども、ちょっと立ち止まって見てみましょう。すると、それまでとは異なった感情が湧いてきます。そんなとき、不思議に優しさも生ずるのです。」

大切な家族でも、愛するわが子でも、憎たらしくなってしまうことがあります。相手のことばに傷ついたり、その態度に苛立ったり、怒りをつのらせてしまいう。真っ正面から向き合うばかりでは、対決姿勢になってしまうのです。でも見る角度を変えてみると違ったものが見えて来て、それまでにない感情が湧いてくるのだと、堀牧師は語りかけました。

心に湧いてくるそれまでとは異なった感情を、立ち止まって丁寧に見つめてみたいのです。「深い慈愛の心」は、そういう所から育まれてくるのだと思います。自分の心の中に不思議と生じる優しさに敏感でありたいと思います。その優しさを大切に育む積み重ねを通して、識別力をもった豊かな愛を少しずつ会得していくのだと思います。祝福がありますように。

牧師 山村 諭